

—— 創立10周年記念誌 ——

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会

ごあいさつ



TSIE会長

福田 泰造

TSIE（常滑市内児童生徒国際交流推進協議会）創立10周年にあたり、ごあいさつ申し上げます。

TSIEは、児童生徒の異文化体験を通して地球的な平和に参加、貢献することを目的として、平成7年に創立されました。

以来、市内各小中学校の実行委員会、先生方、そしてPTA諸賢のTSIEに寄せられたご支援、歴代TSIE役員の並々ならぬご努力と、常滑市教育委員会の適切なご支援、ご指導により、今回にみるTSIEの姿を具現したことは、皆様方とともにご同慶至極に存ずるところであります。

創立10年の節目に、これを記念して式典、祝賀会、講演会、10周年記念誌の発行など記念事業を実施する予定です。また併せて、ピンバッジも作ることになりました。

これらの事業は、TSIEの会員のご協力によって成り立ちます。多くの皆様方のご参加を期待申し上げます。

さて、さきの創立5周年以来今回までの5年間に、長年の課題でありました中学生プログラムを実施し、過年度の事業及び決算のご承認、さらに事業計画、予算案のご審議を得て着実に事業を推進してまいりました。小中学生の受入れ・派遣事業及び隔年毎のISSEコンファレンスへの参加などであります。ただ、子ども達を取り巻く社会は10年前とは激変し、小中学校では国際交流以外の諸問題の対策に追われているのも事実であります。セントレア（中部国際空港）が開港し、愛・地球博が開催された現在、私たちは創立時の基本に戻り、TSIEの国際交流事業を通して視野の広い国際人の育成、地球に優しい国際人づくりに少しでも役立てればと考えます。

終わりにあたり今後ともTSIEに変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

TSIE創立10周年を祝して



常滑市長

石橋 誠晃

TSIE（常滑市内児童生徒国際交流推進協議会）の創立10周年を心よりお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、平成7年5月に発足をされて以来、活発に国際交流を推進されたことによって、市内の児童生徒の皆さんが様々な体験をし国際経験の重要性を理解、認識するといった当初の目的を十分果たされたものと実感いたしております。

この10年の間には、オーストラリア、インド、アメリカ、マレーシア、タイ、メキシコの6つの国々の人たちと交流が行われ、201人の児童生徒と59人のリーダーの皆さんがいろいろな思い出をつくられるとともに数々の立派な成果を上げられました。

これも歴代の会長さんを始め役員の方々、各学校の実行委員の皆様、先生方のご尽力並びに地域の皆様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。

今年2月17日には中部国際空港セントレアが開港いたしました。本当に世界が身近に感じられるようになり、これからは国際交流が一層盛んになってくるでしょう。小中学校においても国際理解教育が進められております。明日の常滑を、そして日本を担う児童生徒の皆さんには、空港の玄関都市である常滑の地理的条件を十分生かし、世界の国々へ交流の輪を広げていってほしいと期待しています。

終わりに貴会のますますの発展と関係各位のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。



常滑市教育委員会
教育長

鈴木 桂

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会の創立10周年、おめでとうございます。

平成7年の創立と同時に、小学生の受入・派遣事業が開始され、平成13年には中学生の受入・派遣事業も開始されました。

10年間の受入総数が245人、派遣総数が260人となり、国際交流事業の推進に大きく貢献をされました。

教育界におきましては、児童生徒を取り巻く社会の国際化が進むにつれて、国際理解教育の充実が日増しに高まっています。

常滑市内の子ども達は、受入事業の取り組みにおいて、外国の子ども達とともに多くのことを学び合うことができたことと思います。

また、派遣事業において、一人一人がテーマをもって、輝く瞳で派遣団結団式や帰国報告会に参加できたことは、国際交流の様々な体験を通して大きく成長してくれたことと思います。

TSIEの歴代の会長さんを始めとする役員の皆様、各学校の実行委員会の皆様、各学校の先生方の大変なご労苦・ご尽力に、心から敬意と感謝を申し上げます。

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会の益々の発展と、国際感覚豊かな子ども達の成長を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



常滑ライオンズクラブ
会長

土平 貞雄

TSIE創立10周年記念心よりお祝い申し上げます。創立記念は、献身の志を新たにし未来の計画を立てる機会を与えてくれると共に、深い感動と感銘を覚えるものであります。国際交流事業の10年間に、受け入れや派遣を体験した数多くの子供たちがおこなった国際交流活動は、TSIEスタッフの皆様や行政、教育関係者、又この交流事業に対し理解と協力をされた関係者各位の大変なご労苦・ご尽力のたまものと心から敬意を表したいと思えます。子供たちが国際交流活動を通じて得た貴重な体験は、各国特有の風土による生活や文化・宗教に対する考え方の違い、あるいは貧富の差などお互いの国を理解し、より良き明日を築くための素晴らしい絆と友情を育んだことと思えます。我が町常滑では、夕日のきれいな伊勢湾に中部国際空港セントレアが開港し、県内では、今世紀最初の総合的な国際博覧会である愛・地球博が「自然の叡智」というテーマで、地球と人類の輝かしい明日につながる試みが繰り返されます。私たちの地域における世界の人達との文化交流が、今後益々発展し、国際文化都市の実現に向けて、TSIEが国際感覚豊かな子供たちの育成に大いに寄与していただくことを期待すると共に、皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げます。

あなたとともに、TSIEの設立10周年をともに祝福できて、光栄であり嬉しく思っています。

児童の国際交流を通しての世界的な相互理解の促進に、あなた方が永年にわたり交流事業に専念してこられたことをお喜び申し上げます。すべてのグループと同じように、組織する方々が入れ替わっていますが、しかしあなた方の目的は変化することなく、これらの目的達成のために皆様の力を注ぎ込んでこられました。児童を教育することから始めた世界平和は、大げさではないですが小さな一歩です。どんな交流でも参加した子供らそれぞれに、人格的な変化がみられます。以前より寛容になり、ずいぶん成熟し、思慮分別のある子らに成長しています。これは児童が外国に出かけ、その児童の訪問を受けて、ホストや全校生のどの子らも親しく付き合うことができた結果、得られた事例です。

到着した時にはまったく見知らぬ人同士だったのが、別れるときには互いに一生の友人となっています。帰国するときにはあなた方の心の一部を後に残して、そのすき間をあなたの新しい国を思う愛と意思疎通で満たしてください。簡単に言わせていただければ、世界はひとつ、人類はひとつです。

TSIEの皆様方は、このようにこの人生哲学に絶対必要な一部となっていることに誇りを持っていいと思えます。

10周年おめでとうございます。そして皆様のご多幸をお祈りしています。

ベブ・キャンプベル
ボブ・ヘリング
スー・ボルドック
ISSE国際本部

異文化体験をして

衣川 友美 (2000年 常東小・マレーシア派遣児童)

文化の違いは、人々がその土地の地形・気候やニーズに合わせた、それぞれの生活様式を形成していった証です。マレーシアのトイレにはティッシュが無い事、チョンカという遊びがある事、様々な文化があります。時にはこの証が外人である私達に不便さを感じさせる事もありました。しかし、マレーシアの文化に直に触れた事によりその土地の歴史を感じることができ、この体験は私にとって思い出深いものとなりました。



山下真由紀 (2001年 鬼北小・マレーシア派遣児童)

マレーシアへ行ってから、メールをする相手が増えました。ダディと、エレナと、クリスティーンです。彼らは、私の大事なお父さんと、妹と、お姉ちゃん 昨日も、エレナ&ダディからメールがきました

6年生の時、私がマレーシアへ派遣されて訪問したのは、たったの3週間だけれど、エレナ&クリスティーンとは、その倍の6週間を、一緒に過ごしました。それは、私のマレーシアでの生活が終わり、涙のお別れをした4ヶ月後に、ダディからのクリスマスプレゼントがやってきました。私のお姉ちゃんと妹が、3週間家に、ホームステイしにきたのです。

私は、マレーシアに行って、よかったです。だって、TSIEの派遣事業とは別に、ホームステイをしたり、今でもメールをしたりしているからです。英語が苦手で、すぐに返事が送れなくてゴメンネ 日々、メールを待ったり、今度はいつ会えるんだろうって考えてみたり、楽しいことばかり考えてマス…

竹内 佑佳 (2002年 大野小・オーストラリア派遣児童)

オーストラリアでは、生活習慣はもちろん学校の時間割や、放課などの過ごし方が全く違いました。初めはとまどいでしたが、みんな親切で、気軽に声をかけてくれて、一緒にアボリジニアートやダンスの授業を受けたり、バスケットや水泳などのスポーツをしたりと、過ごせば過ごすほど新しい発見があり、気持ちが通じ合えました。

私が今、「国際交流」という言葉を聞くと、「わくわくして楽しいこと」と思えるのも今回の体験があるからこそです。オーストラリアでの異文化体験は私にとっての宝物になりました。



岩田 典子 (2002年 西浦南小・オーストラリア派遣児童)

オーストラリアのホームステイ先に着いてまずビックリした事は、家の中に靴のまま入っていく事や、お風呂がシャワーだった事です。ご飯は、米の日は少なく米の日でも日本と全然味がちがいました。日本では箸を使うけど、オーストラリアではフォークとナイフでした。昼は弁当でAMYのお母さんの手作りサンドイッチなどが入っていました。オーストラリアは、放課の時間にお菓子を食べたりしました。キャンプにも行きました。キャンプではボートを運転したり、ジャイアントスイングをやったりしました。ボートを運転したり、ジャイアントスイングは日本では出来

ない事だと思います。野生のコアラが見えるのもオーストラリア

だけだと思います。今でもAMYとメールをしたり、誕生日やクリスマスには、プレゼントをあげたりしています。これからも続けていきたいです。

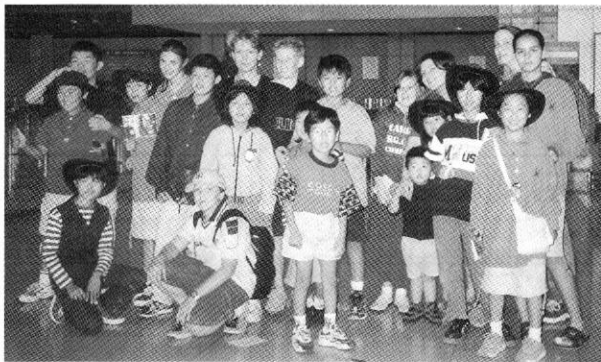
水野 樹 (2004年 常東小 オーストラリア派遣生児童)

オーストラリアのウィーデンハイツ小学校へ派遣に行き着物の着付け、よさこいソーラン節、さくらさくらの踊り、日本語のあいさつ、折り紙などを教えて交流をして来ました。メルボルンのシティツアーや森の中を走る汽車に乗り、いろいろな所へ社会見学に行きました。

ホームステイした家では一緒に料理をし買い物や犬の散歩に出かけたりトランポリンで遊び英語の会話も大変だったけど楽しく過ごす事が出来ました。



ホストファミリーの喜怒哀楽



車谷かおり (2000年 三和小・オーストラリアホスト児童)

2000年の秋、私の家に初めて外国人が来てくれました。それがオーストラリアの子供、マディーだった。彼女は、何でも経験し誰にでも笑顔で接する、とてもやさしい子でした。そのやさしさから私は、他の子に「やきもち」をやいたりもしました。

3週間目ぐらいから、お互いの気持ちも少しずつわかるようになりました。でも、あっという間に帰る日になってしまいました。

別れの時は今まで味わったことのない悲しさとさみし

さでいっぱいでした。

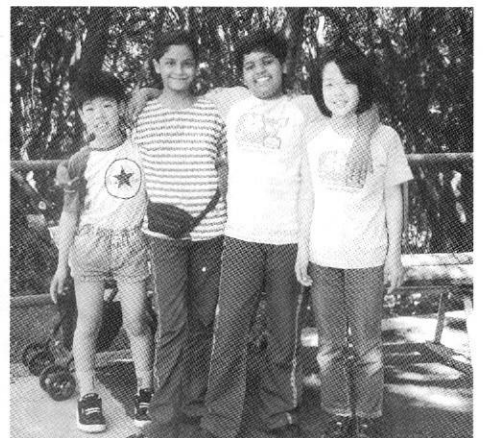
マディーがオーストラリアに帰ってからは、お互いに手紙やメール交換をして、最近のできごとや、今日の気持ちなどを教えあっています。

とても短い時間だったけれど親友と呼べる友達ができてよかったです。そしてまたいつか、マディーに会いたいです。

浅田 圭子 (2001年 鬼南小・インドホストマザー)

我が家に初めて来たゲスト、アムリタ。彼女は私を呼ぶ時「Excuse me?」と言っていたが、暫くすると「おかあさん」と呼んでくれるようになり、学校から帰ると、学校での事やインドの事をたくさん話してくれた。彼女の話す英語の半分位しか理解できなかったけど、それは私にとって楽しい時間だった。

この交流をきっかけに、我が家は様々な国の人を受け入れするようになり、楽しい交流を続けている。言葉や文化は違っても、一緒に楽しい時間を過ごせる事を、アムリタが教えてくれた。



ホストファミリーの喜怒哀楽

新美 慧介 (2002年 三和小・マレーシアホスト児童)

ぼくは、初めてホストファミリーをやりました。初めてアリフに会ったとき、ぼくは緊張してなにもしやべることができませんでした。アリフのほうからぼくに声をかけてくれました。そのときは、アリフがなにを言っているのかぜんぜんわかりませんでした。でも、だんだん、なにを言っているのかわかるようになりました。

3週間、楽しかったことばかりでした。食事に行った車の中で、「ナンバーエーコ」という指で遊ぶゲームを教えてくださいました。ぼくは、負けてばかりだったけど、妹と3人でもりあがり、とてもおもしろいゲームでした。あと、サッカーのリフティングやキックやシュートをやったり、バスケットをしたりしました。ケンカもしました。

アリフがいる時、ぼくはとてもハッピーでした。最後、アリフが帰るとき、ぼくは泣いてしまいました。短い間だったけど、外国の友達ができてよかったです。今度、マレーシアに行けたらアリフに会いたいです。



森本 泰子 (2003年 西北小・メキシコホストマザー)

2003年5月メキシコの子供のホストをさせていただきました。言葉や生活習慣の違いがお互いを、より深く知り合いたいという心の絆となり子供同士は勿論のこと家族も大変楽しく有意義な経験が出来たと思っております。その後彼とは家族の誕生日やクリスマスにプレゼントを贈り合ったり、週に1~2度メールで互いの学校の事、家族や友達の事いろんな話をして今でもずっと温かい交流が続いています。一生の家族でいたいと思っています。

鯉江 信慶 (2004年 常西小・タイホスト児童)

ホストファミリーとして、つらかったことは初めの一週間あまりしゃべれなかったことです。でも、学校から帰ってから学校にサッカーをやりに行ったりできたので楽しかったです。うれしかったことは二、三週目になってから、よくしゃべったりゲームで遊べるようになったことです。学校では放課によくクラスのみんなど卓球場で卓球をやりました。タイの友達と過ごした三週間は楽しかったです。とてもいい経験になりました。



「中学生と国際交流」

齋田 正彦 (中学生プログラム担当)

TSIE設立当初からの懸案であった中学生プログラムが、TSIEスタッフ、中学校関係各位、地域の皆様、そして相手国となっているマレーシアのスタッフにも多大な協力をいただいて平成13年度にスタートし、本年度までに2度の派遣事業と1回の受入事業が行われました。

中学生は、感性豊かで物事への興味が旺盛な年代であり、このプログラムによって異文化に直接触れることから、すばらしい刺激と体験を得る一方で、情緒や精神的な揺れ動きが激しい年代でもあり、自分の考えた交流ができずに思い悩む生徒の姿も見られました。ISSEの小学生プログラムから、一步踏み込んだ個人と個人との深い交流を目指す中学生プログラムが、プログラムとして十分な成果を上げられたかどうかは、これから現れてくるものと思います。しかし、「国際交流」というものを、知識としてだけでなく、実際に身近なものとして体感できたことは、生徒たちの将来にとって、必ずや大きな糧になったと信じます。特に受入事業は、現況の中学校において、時間的にも物理的にも厳しい部分が多いですが、その事業が生徒に与える影響はたいへん大きく、中学生における国際交流事業の有効性と必要性を、再認識することにもなりました。

中学校としては全国的に見ても貴重である受入・派遣の両事業をもつこの国際交流事業ですが、プログラムとしては、まだまだ試行錯誤の状態であり、解決すべき課題も山積しております。しかし、「世界に開かれた文化都市」を目指す常滑市の将来を担ってゆく子どもたちのためにも、各機関との連携を深め、今後ともプログラムの充実と継続を目指して活動していくことを強く望みます。

「マレーシアとの国際交流で学んだこと」

造山智幸 藤田佳彦 (マレーシア派遣団リーダー)

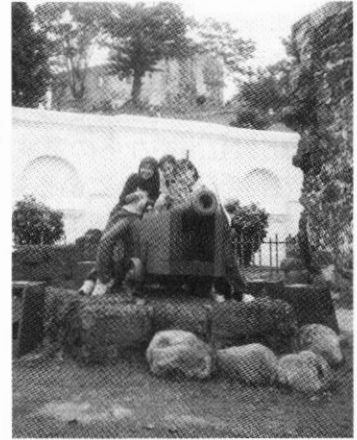
多民族・他宗教の国家マレーシアでは、単一民族といわれる日本人が味わったことのない試練を、イギリスからの独立後から経験し現在に至っています。この歴史は、マレーシア人の国民性に反映されているように感じました。訪問先で出会った人たちとは必ず堅い握手で始まり、お互いの出会いを喜び合い、最後も握手で終わりました。フェアウェルディナーでは、マレーシアの生徒は、日本人歌手キロロの「未来へ」を全て日本語で歌ってくれました。わかり合おうと日本語の歌を練習し、歩み寄ってくれた気持ちが嬉しくて、生徒誰もが、涙が止まりませんでした。民族・宗教の壁を乗り越えて1つの国を作り上げるために、お互いの違いを受け入れスクラムを組んできたことが、こんな人間性にもなっていることを、肌で感じ取ることができました。国際交流の中で「人と関わることの素晴らしさ」「自分との違いを受け入れることの大切さ」を体験の中から実感できたことは、日本に持ち帰ることのできた一番のおみやげになりました。



『異文化体験して』

加藤小百合 (2001年 常滑中)

2001年の夏にマレーシアへ行きました。マレーシアは独自の文化がとても強い国だと私は感じました。というのも、信仰している宗教や、気候、食べ物、言語、歴史、生活習慣が日本とはまったく異なっていました。私は今まで一度も海外へ行った事がなかったので、今回はいろいろな意味での『初めて』が数多くありました。まず、宗教から。マレーシアはイスラム教が広く信仰されています。宗教は日常生活に深く結びついていて、毎日礼拝は欠かしていませんでした。学校にいる時でもモスクからコーランが流れると皆お祈りを真剣にしていました。また、イスラム教では女性の地位が低く、女性禁制の場所さえもありました。日常生活でも、学校が学年により午前部と午後部に分かれるので、家庭で過ごす時間が多く、マレーシアの有名な観光地へ連れて行ってもらった事もあります。マラッカでは、当時の遺跡を見る事ができました。植民地時代の影響が色濃く残る場所でした。私は今回素晴らしい異文化を体験しました。この先もぜひ体験していきたいです。



竹内 勇人 (2002年 青海中)

ホストファミリーは楽しい!!

ぼくのホストした子は、たよれる兄貴的な存在だった。だから、英語を教えてもらったり、一緒にゲームをしてあそんだり、いろいろ楽しいことがたくさんできた。1番楽しかったことは、僕の部活に連れて行った時少しの時間だったけれどテニスをしたことだ。とても楽しく、ホストした子も楽しそうだった。書ききれないほどのとてもたくさん楽しい思い出があるけれど、その一つ一つが楽しい思い出だ。僕はそれを忘れない。

斎田 彩奈 (2004年 鬼崎中)

私は2004.8.8~8.21まで、TSIE中学生プログラム派遣団としてマレーシア・シャアラムセクション2中学校へいきました。私は派遣団として積極的に交流を深め、友情を育むようにと努力しました。マレーシアの人達は、とても友好的で私たちを心から歓迎してくれたので、すぐにたくさんの友達ができ、いまでもEメールで交流をしています。

ホストファミリーもとても親切で、いつも一緒にいてくれたので、毎日楽しくてホームステイをしていた2週間がとても短く感じました。私はTSIE事業関係者の方々や家族の協力のおかげでこのような素晴らしい体験をする事ができ、心から感謝しています。私は、感謝の気持ちを忘れないようにと思ひますし、どうかこれからもこの事業が続いていくように願っています。



森島成映 (2004年 南陵中)

私はTSIE派遣団で、8月8日から8月21日までの2週間マレーシアのセランゴール州のシャアラム・セクション2という学校へ通いました。クラスに遊びに行った時も明るく声をかけ私たちをすごく歓迎してくれました。学校はとても自由な雰囲気でした。私が学校で驚いたのは、日本語の本を見て一生懸命勉強をしていた生徒がいた事です。廊下ですれ違った時も日本語であいさつをしてくれるのでとても嬉しかったです。マレーシアの人は本当にフレンドリーで楽しかったです。マレーシアに滞在して思ったことは日本に生まれて幸せだなと強く思いました。ホームステイでは、英語を学ぶ以外にも、ゲーム、マレー語、習慣などたくさんの事を学びました。この夏の事はずっと忘れられないものとなりました。みなさんもマレーシアに行って体験してみてください。

事業報告



1995

常東小	派遣	8/4~8/27	オーストラリア ロービル小	児童 8名	引率 2名
常西小	派遣	8/4~8/24	オーストラリア アップウェイ小	児童 6名	引率 2名
	受入	9/10~10/1	オーストラリア アップウェイ小	児童 6名	引率 1名
鬼南小	受入	9/11~10/2	オーストラリア ロービル小	児童 6名	引率 1名

1996

鬼南小	派遣	8/2~8/25	オーストラリア ロービル小	児童 8名	引率 2名
常東小	派遣	8/2~8/24	オーストラリア ベルグレーブサウス小	児童 10名	引率 2名
	受入	9/16~10/7	インド シティモンテソーリ小	児童 10名	引率 2名
鬼北小	受入	9/21~10/12	オーストラリア ベルグレーブサウス小	児童 6名	引率 2名
西北小	受入	9/21~10/11	オーストラリア コカトゥ小	児童 6名	引率 2名
* 第1回文化交流のタベ 9/27 常滑文化会館大ホール					
* I S S Eコンファレンス 7/7~7/14 オーストラリア 参加者 4名					

1997

鬼北小	派遣	8/2~8/24	オーストラリア ベルグレーブサウス小	児童 6名	引率 2名
西北小	派遣	8/2~8/24	オーストラリア コカトゥ小	児童 6名	引率 2名
鬼南小	派遣	8/6~8/24	マレーシア スバンジャヤ小	児童 6名	引率 2名
	受入	9/27~10/18	オーストラリア ラングウォーリン小	児童 8名	引率 2名
常東小	受入	9/15~10/4	オーストラリア ベルグレーブサウス小	児童 10名	引率 3名
大野小	受入	9/6~9/29	オーストラリア ロービル小	児童 6名	引率 1名
* 第2回文化交流のタベ 9/19 常滑文化会館大ホール					
* I S S Eコンファレンス 7/18~7/25 アメリカ 参加者 2名					
* マレーシア視察 2/26~3/1 スバンジャヤ小 参加者 5名					

1998

三和小	受入	5/10~5/31	オーストラリア アップウェイサウス小	児童 7名	引率 2名
	派遣	8/1~8/23	オーストラリア アップウェイサウス小	児童 7名	引率 2名
大野小	派遣	7/31~8/23	オーストラリア ロービル小	児童 8名	引率 2名
鬼南小	派遣	8/1~8/23	オーストラリア ラングウォーリン小	児童 8名	引率 2名
常東小	派遣	8/8~8/28	インド シティモンテソーリ小	児童 6名	引率 2名
常西小	受入	9/6~9/21	オーストラリア ロービル小	児童 6名	引率 2名
西北小	受入	5/10~5/31	アメリカ グラハム小	児童 4名	引率 2名
西南小	受入	5/10~5/31	オーストラリア リージェンシーパーク小	児童 6名	引率 2名
* 第3回文化交流のタベ 5/22 常滑文化会館大ホール					
* スタディツアー 受入 6/30~7/7 オーストラリア・ロービル小 教師12名参加					

1999

常西小	派遣	7/31~8/22	オーストラリア ロービル小	児童 8名	引率 2名
西南小	派遣	7/31~8/22	オーストラリア リージェンシーパーク小	児童 8名	引率 2名
大野小	受入	5/8~5/31	オーストラリア カウズ小	児童 4名	引率 2名
鬼南小	受入	5/26~6/14	インド シティモンテソーリ小	児童 8名	引率 2名
常東小	受入	9/22~10/10	マレーシア シャーアラームセクション9小	児童 8名	引率 2名
* 第4回文化交流のタベ 9/29 常滑文化会館大ホール					
* スタディツアー 派遣 8/6~8/16 オーストラリア・ロービル小 教師9名参加					
* I S S Eコンファレンス 6/30~7/4 インド 参加者 2名					
* 創立5周年記念講演会 3/9 常滑JA会館 「国際交流の楽しみ方」					



2000

大野小	派遣	7/29~8/20	オーストラリア カウズ小	児童 8名	引率 2名
鬼南小	派遣	7/30~8/21	インド シティモンテソーリ小	児童 7名	引率 3名
常東小	派遣	7/30~8/19	マレーシア シャーアラームセクション9小	児童 6名	引率 2名
西北小	派遣	3/18~4/2	アメリカ グラハム小	児童 5名	引率 2名
三和小	受入	9/18~10/5	オーストラリア ベルグレーブサウス小	児童 6名	引率 2名
鬼北小	受入	9/16~10/7	マレーシア シャーアラームセクション9小	児童 6名	引率 2名
* 第5回文化交流の夕べ 9/30 常滑文化会館大ホール					
* スタディツアー 受入 6/22~7/5 オーストラリア・ロービル小 教師12名参加					

2001

三和小	派遣	8/4~8/25	オーストラリア ベルグレーブサウス小	児童 9名	引率 2名
鬼北小	派遣	7/22~8/12	マレーシア シャーアラームセクション9小	児童 6名	引率 2名
中学校	派遣	8/8~8/22	マレーシア シャーアラームセクション9中	児童 8名	引率 2名
大野小	受入	9/4~9/20	オーストラリア ラングウォーリン小	児童 6名	引率 2名
鬼南小	受入	5/7~5/24	インド シティモンテソーリ小	児童 8名	引率 2名
常東小	受入	9/15~10/6	オーストラリア ロービル小	児童 8名	引率 2名
西北小	受入	5/13~6/3	オーストラリア リージェンシーパーク小	児童 8名	引率 2名
西南小	受入	5/14~6/4	オーストラリア アップウェイサウス小	児童 8名	引率 2名
* 第6回文化交流の夕べ 9/19 常滑文化会館大ホール					
* ISS Eコンファレンス 7/22~7/28 アメリカ 参加者 2名					
* マレーシア視察 シャーアラームセクション9小中 参加者 3名					
* タイ視察 デモンストレーションスクール 参加者 2名					

2002

大野小	派遣	7/28~8/17	オーストラリア ラングウォーリン小	児童 8名	引率 2名
鬼南小	派遣	8/3~8/25	オーストラリア コカトゥ小	児童 6名	引率 2名
常東小	派遣	7/28~8/19	オーストラリア ロービル小	児童 6名	引率 2名
常西小	派遣	8/4~8/25	タイ デモンストレーションスクール	児童 7名	引率 2名
西北小	派遣	8/3~8/25	オーストラリア リージェンシーパーク小	児童 5名	引率 2名
西南小	派遣	8/3~8/25	オーストラリア アップウェイサウス小	児童 6名	引率 2名
三和小	受入	10/12~11/2	マレーシア シャーアラームセクション4小	児童 6名	引率 2名
青海中	受入	10/6~10/20	マレーシア シャーアラームセクション9中	児童 8名	引率 2名
* 第7回文化交流の夕べ 10/18 常滑文化会館大ホール					
* スタディツアー 受入 5/9~5/12 タイ・デモンストレーションスクール 教師3名参加					
7/1~7/9 ISS E加盟校 教師12名参加					
10/12~10/20 マレーシア・セクション9中4小 教師3名参加					

2003

西北小	受入	5/10~5/31	メキシコ センカ学園	児童 6名	引率 1名
※SARS問題の影響で、その他の事業を見合わせ					

2004

三和小	派遣	8/1~8/22	マレーシア シャーアラームセクション4小	児童 5名	引率 2名
常東小	派遣	7/31~8/22	オーストラリア ウィーデンハイツ小	児童 6名	引率 2名
中学校	派遣	8/8~8/21	マレーシア シャーアラームセクション2中	児童 8名	引率 2名
鬼南小	受入	9/27~10/16	オーストラリア リージェンシーパーク小	児童 6名	引率 2名
常西小	受入	10/3~10/23	タイ ブラサーンミット小	児童 6名	引率 2名
西南小	受入	10/16~11/3	マレーシア スリクアラルンプール小	児童 6名	引率 2名
* 第8回文化交流の夕べ 10/20 ※台風により中止					
* ISS Eコンファレンス 7/11~7/15 メキシコ 参加者 2名					

受入



受入事業を行った学校

27校（小学校）

児童数 182名

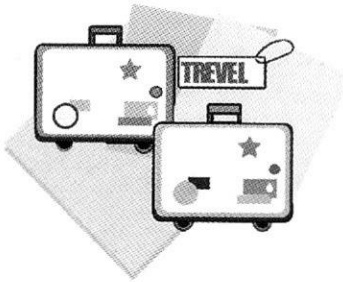
1回（青海中）

生徒数 8名

（三和3 大野3 鬼北2 鬼南5 常東4 常西3 西北4 西南3）

受入した国（6国）

オーストラリア	ロービル小……………4回	8校
	リージェンシーパーク小……2回	
	カウズ小……………1回	
	アップウェイ小……………3回	
	ベルグレーブサウス小……3回	
	コカトゥ小……………1回	
	ラングウォーリン小……2回	
	マレーシア	
	セクション9小……………2回	
	セクション4小……………1回	
	セクション9中……………1回	
インド	シティモンテソーリ小……………3回	
タイ	プラサーンミット小……………1回	
アメリカ	グラハム小……………1回	
メキシコ	センカ学園……………1回	



派遣



派遣事業を行った学校

27校（小学校）

児童数 185名

2回（中学校）

生徒数 16名

（三和3 大野3 鬼北2 鬼南5 常東6 常西3 西北3 西南3）

派遣した国（5国）

オーストラリア	ロービル小……………5回	8校
	リージェンシーパーク小……2回	
	カウズ小……………1回	
	ウィーデンハイツ小……………1回	
	アップウェイ小……………3回	
	ベルグレーブサウス小……3回	
	コカトゥ小……………2回	
	ラングウォーリン小……2回	
マレーシア	スバンジャヤ小……………1回	5校
	セクション9小……………2回	
	セクション4小……………1回	
	セクション9中……………1回	
	セクション2中……………1回	
インド	シティモンテソーリ小……………1回	
タイ	スリナカンウィロットデモンストレーション小…1回	
アメリカ	グラハム小……………1回	





【常滑市内児童生徒国際交流推進協議会規約】

(名称)

第1条 本会の名称を、常滑市内児童生徒国際交流推進協議会 (Tokoname City students' International Exchange Conference Association以下「TSIE」という) とする。

(目的)

第2条 TSIEは、地球的な平和に参加、貢献する事をもとに、常滑市内の児童生徒 (小、中学生) に、国際交流事業を推進することにより、さまざまな体験、機会を与え、児童生徒及びその活動関係者が国際経験の重要性を理解、認識するよう努める。

(事業及び運営)

第3条 TSIEは、前条の目的を達成するために、教育委員会及びPTAとの協力を得つつ、次の事業を行う。

- (1) 常滑市内における、国際交流のための外国からの児童生徒の受け入れ事業
- (2) 常滑市内における、児童生徒の国際交流のための海外派遣事業
- (3) その他、前条の目的の達成に必要な事業

2、TSIEは、教育委員会、PTA及び市民ボランティアの活動によって前項各号の事業運営に寄与するものとする。

(会員)

第4条 TSIEは、第2条の趣旨に賛同する者及び第2条の趣旨に賛同する市内小中学校により構成する。

2、TSIEの入会については、指定書式申し込み書を、役員会に提出し役員会の承認を持って登録、入会とする。

3、TSIEの会員の退会については、委員長又は事務局を通じ、役員会の承認をもって退会とする。

4、会員は各年度総会后、1ヶ月以後をもって会費の納入の無い会員は会より退会した事として扱う。

(組織)

第5条 TSIEに、次の役員を置き、役員会を構成する。

- | | | | | | |
|----------|----|---------|-----|-----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 | (2) 副会長 | 若干名 | (3) 会計 | 1名 |
| (4) 事務局長 | 1名 | (5) 委員長 | 若干名 | (6) 事業代表者 | 若干名 |

2、役員は、総会において会員の中から選任する。

3、役員が欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4、役員の任期は、一年とし、再任を妨げない。

5、役員は委員会の委員を兼ねることが出来る。

6、副会長の内1名は、各学校単位において派遣、受け入れ事業等を担当する団体の代表者とする。

7、役員とは別途、役員会の承認を持って会長の任命により監査を2名置く。

8、役員とは別途、役員会の承認を持って会長の任命により顧問を置くことができる。

(役員及び監査、顧問の職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2、副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。

3、会計は、経理を担当する。

4、事務局は、会務、総務及び庶務を担当し、会の円滑な運営と活動を行う。

5、委員長は、委員会を掌握し、実務を執行する。

6、事業代表者は、各事業実行団体の事業の円滑な運営を図り、団体の総意の意見を述べる。

7、監査は、会計を監査する。

8、顧問は、各専門事項等にわたり広く意見を述べる。

(役員会の任務等)

第7条 役員会は、総会の可決事項の範囲において、事業実務の事項を付議し、協議、執行する。

2、役員会は、会長又は役員申し出により会長が召集し、会長が議長となる。

3、役員会は、役員申し出により、会長の承認によって、役員以外の会員及び有識者等を出席させることができる。

4、役員会は、出席者の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

5、会長は、随時、会員である市内小中学校に対し、経過を報告し、又は意見を聴取することができる。

(総会及び臨時総会)

第8条 総会は年1回会長が召集し、会長がその議長となる。なお、会長が必要と認めるときは、臨時に総会を招集することができる。

総会に付議する事項は、次のとおりとする。

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------|
| (1) 予算の議決及び決算の認定 | (2) 事業計画及び事業報告の承認 | (3) 役員の変更及び承認 |
| (4) 規約の変更及び承認 | (5) その他、会長が重要と認める事項 | |

2、総会、臨時総会は会員をもって構成する。

3、総会、臨時総会は、出席者の過半数で決し、賛否同数の時は議長の決するところによる。

(事務局)

第9条 TSIEの庶務を処理するため、事務局を常滑市内に置く。

2、事務局は事業該当校中から各1名以上及び会員の中から若干名を選任する。

(委員会)

第10条 委員会とは、役員会の決議により、委員会を置くことができる。

2、委員会は、委員長1名、副委員長若干名を置き、委員会委員の中から定める。

3、委員会委員は、役員会の承認をもって会員の中から選任する。

4、委員会は、委員会の申し出により、委員長が召集し、委員長が議長となる。

5、委員長は、担当事業に係わる意見の聴取、取りまとめをし、委員会運営に関して、役員会において協議を計る。

6、委員会委員は役員及び事業実行団体より業務に関する委託、要望をうけ、その業務の円滑なる運営に務める。

(経費)

第11条 TSIEの経費は、会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2、年会費は、500円とする。

3、会員の小中学校からは会費を徴収しない。

(会計年度)

第12条 TSIEの会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(その他及び緊急の場合の運用事項)

第13条 前条各項の定めのほか、必要な事項は、会長が役員会にはかつて定める。

2、緊急の場合には役員会の議決において、総会の決議に変わることが出来る。

(付則) この規約は、2003年5月9日から施行する。(年会費変更)

TSIE創立10周年記念事業実行委員会

実行委員長	福田 泰造 (TSIE会長)
委 員	岩田みちる (西北小OB)
	片野坂啓子 (西北小OB)
	榊原 裕子 (西北小OB)
	清水 愛子 (西北小OB)
	中野 律子 (西北小OB)
	竹内 千也 (三和小)
	福田多津美 (常西小)
	柴山 友子 (常東小)
	斎田 正彦 (TSIE事務局)
	加藤 宣和 (TSIE事務局)
	間瀬 文夫 (TSIE事務局)
	村川 和久 (TSIE事務局)
	平岡 守 (TSIE事務局)
	澤田 憲枝 (TSIE事務局)
	都築 明美 (TSIE事務局)
	田村 由紀 (TSIE事務局)
会 計	皿井 栄一 (TSIE会計)

